

2024 年度 (公社)都市住宅学会中部支部 事業報告

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

1. 中部支部総会

日時：2024 年 4 月 13 日（土）14：00～14：30

場所：名城大学天白キャンパス 研究実験棟 2（R2 棟）2 階多目的室（261）

議事：2023 年度(公社)都市住宅学会中部支部 事業報告

2023 年度(公社)都市住宅学会中部支部 決算報告及び監査結果報告

2024 年度(公社)都市住宅学会中部支部 常議員

2024 年度(公社)都市住宅学会中部支部 事業計画

2024 年度(公社)都市住宅学会中部支部 収支予算

出席者：25 人（委任状 10 人を含む）

2. 役員会等

2024 年 4 月 13 日（土） 名城大学 第 1 回常議員会

2024 年 5 月 29 日（水） UR 中部支社・Zoom 第 1 回幹事会

2024 年 7 月 25 日（木） UR 中部支社・Zoom 第 2 回幹事会

2024 年 9 月 4 日（水） 名古屋大学・Zoom 第 3 回幹事会

2025 年 1 月 8 日（水） 名古屋大学・Zoom 第 4 回幹事会

2025 年 2 月 25 日（火） 名古屋大学・Zoom 第 2 回常議員会

3. 住宅市場研究会

(1) 郊外住宅地部会

【委員：海道清信（部会長）、河崎典夫、村上心、浦山益郎】

1. 「かたびら交通まちづくりを考える会」を発足

2019～2024 年 3 月までの 5 年間活動してきた「(可児市) 団地交流懇談会」から派生して、2024 年 4 月に、名鉄西可児駅周辺の帷子（かたびら）地区における交通のあり方を考えるために発足した。可児市のまちづくり活動助成金を受けている。現在会員は 19 名。

2. 帷子地区の概要

可児市人口約 10 万人の内、帷子地区には約 2 万人が居住しており、その 90%が住宅団地居住者である。公共交通の利便性が低下するとともに、自動車利用が困難な高齢者が増加している。足の確保のためにボランティアによる移動支援活動が取り組まれている。

3. 活動状況

- ・定例会での学習、議論、検討。2024/4月～2025/2月に9回開催。市役所都市計画課職員、帷子地区社会福祉協議会、可児市議会議員もオブザーバー参加している。可児市議会部会との討議。
- ・見学会－瀬戸市菱野団地における住民バス
- ・先進事例調査－栃木県小山市「おーバス」、岐阜市コミュニティバス、各種文献など
- ・ホームページの開設・運営：<https://www.ck.ne.jp/~myn364/>

4. アンケート調査

- (1) 移動支援活動アンケート調査：帷子地区で運営されている3つの事業を対象に、ドライバー54名、利用者37名のアンケート実施。結果は会議で報告するとともにホームページで公開。
- (2) 住民交通生活アンケート調査：6住宅団地を含む13自治会・自治連合会の協力を得て、10～11月に実施。総回収数2384通。結果は会議で報告討議し市役所にも情報提供、ホームページに掲載。調査項目は下記：自動車保有、運転免許、日常生活行動一買い物と通院の頻度、時間帯、利用先、交通手段。交通システムの利用実態、将来居留意向。自由意見では、将来不安（高齢化によるマイカー運転が困難になったとき）、公共交通改善要望（便数の増加、徒歩圏にバスストップ、利用のしやすさ、システムの連携）、住民意見を反映させた改善などがみられる。

5. 今後

地区内を運行している民間路線バスを可児市のコミュニティバスに転換する案が可児市役所から提案されている。会として、アンケート調査などを踏まえて、地区の望ましいモビリティのあり方提案を検討している。

(2) 住宅再生部会

【委員：村上心（部会長）、川野紀江（幹事）、研究者・行政・民間15名程度】

沖縄の住宅を対象として、形式や特徴、公的住宅の再生に関する一般公開の講演会を企画・実施した。

- ・講演タイトル：『沖縄近現代型住宅の形式と特徴』
- ・講師：琉球大学工学部工学科建築学コース 准教授 入江徹氏
- ・日時：2024年10月21日(月)18時～19時半
- ・場所：椋山女学園大学 星が丘キャンパス 生活科学部棟 B108室
- ・参加者：40名

(3) 公共住宅部会

【委員：松山明（部会長）、林直孝（幹事）、研究者・行政・民間20名程度】

○11月28日(木) 18:15～20:00

<テーマ>

- ①インフラ0ハウスの取り組みに関して
- ②MUJI×URの取り組みに関して

<講師>

①川内浩司氏：株式会社 MUJI HOUSE 取締役、「無印良品の家」住空間事業部開発部長

②松本雄作氏：株式会社 MUJI HOUSE 住空間事業部リノベーション事業 法人チーム)

<場所>UR 都市機構中部支社 17F 会議室（中日ビル内）

<参加者> 18 名

<概要>

①インフラ 0 ハウスの取り組みに関して

- ・インフラ 0 ハウスは 2023 年からプロトタイプの開発が始まり、インフラ 0 でも暮らせる家を目指す。2024 年からインフラ・ゼロ、カーボン・ゼロ、リビングコスト・ゼロ、災害リスクゼロの 4 つのゼロを目標として実証実験が始まり、2025 年からは販売が始まる予定。
- ・インフラ 0 ハウスは、建築確認申請不要で、市街化調整区域でも建てられる。ただし、車検が必要で、水道、ガス、電気を、工具を使わず外せることが必要。リビング棟、ユーティリティ棟の 2 台で構成され、水循環システムと居住空間で分ける。壁には太陽光パネルが設置され、トイレはおがくずを入れたバイオトイレを利用。
- ・車体はシャーシーに乗せて、上部の荷重部分は 2600kg 以内とし、11 ナンバーで車検を取る。エコキュートを使い、衛生用のインターネット用アンテナを設置している。
- ・インフラ 0 ハウスは、集住型のインフラとしても使用できる。大きなシステムで作成、災害で壊滅した際のインフラ設置にも貢献できる。分散型のインフラとして活用も考えられる。

②MUJI×UR の取り組みに関して

- ・UR は空き家や高齢化の問題が深刻化している際に、MUJI は子育て世代をターゲットとして MUJI×UR の取り組みを始めた。団地に住民がどれだけ関わりがあるか知るために、アンケートを行い、自分の暮らしに間取りを自由に変えられることを望んでいることが分かった。
- ・MUJI としては、「生かす」、「変える」、「自由にできる」という 3 つのポイントを大切に、こわしすぎず、つくりこみすぎないという点も大事にしている。特に長期で住んでいた住戸を敢えて狙い、そのビンテージな所をうまく生かして改修する。例えば、和室を活かしたり、押入れを活かしたりする。
- ・団地まるごとリノベーションの事例として花見川団地商店街リノベーションを紹介した。協業の範囲を広げ、共用部分のリノベーション、地域コミュニティの形成、地域生活圏活性化などを目指している。広場、図書館、商店街など再生する領域は広く、特に若者を中心とした地域の住民を巻き込むことに注力していた。

○3月6日（木）18：30～20：00

<テーマ> 中川運河創出の取り組みについて

<講師> 谷本敦氏：（一社）フォーセット名古屋

<場 所>中川運河 PALET.NU（名古屋市中川区広川町5丁目地先）

<参加者> 4名

<概 要>

- ・名古屋市の「中川運河にぎわいゾーン都市再生整備計画」が平成24年に策定され、（一社）フォーセット名古屋は、「中川運河周辺地域を対象に地域の新しい文化創出、新たな魅力創出に寄与」をミッションに活動を行っている。
- ・メンバーは、中川運河再生活動に長く関わってきた小澤代表理事、アンティーク家具、雑貨、古着等のアパレル店舗を運営する原理事、デロイトトーマスベンチャーの谷本理事、そしてNOT A HOTELのコーポレート業務に携わる栗山氏を監事として、4名で運営を行っている。
- ・アートイベントを行う「DRILL」、イベントを行う拠点「PALET.NU」が主な活動。DRILLは2024年に50団体、27店舗が集まるイベントを開催し、会場には3,800人が参加した。「PALET.NU」では、中川運河の水辺でまちを楽しむ実証実験を名古屋市の事業として行った。
- ・これからは民間主導のまちづくりを目指すため、民間主導のファンド事業や地域住民や周辺企業を巻き込んださまざまな活動を展開していく。

(4) 住宅リフォーム産業部会

【委員：高井宏之（部会長）、小川、小野、大崎、尾崎、谷村、他4名】

活動なし

4. 事業

期 日	実施事業等	内 容
2024年 4月13日 (土)	講演会	テーマ：「超高層住宅の未来絵図—アジア4都市からみた日本—」 講師：名城大学教授 高井宏之氏（株）市浦ハウジング&プランニング代表取締役社長 川崎直宏氏 場所：名城大学天白キャンパス 研究実験棟2 2階多目的室 (参加者：37名)
2024年 11月8日 (金)	講演会	テーマ「景観まちづくりの研究と実践—制定20周年を迎える景観法の可能性と観光まちづくりへの展開—」 講師：國學院大學観光まちづくり学部観光まちづくり学科 浅野聡教授 (参加者：35名)
2024年 12月7日 (土)	見学会	伊賀市中心市街地の取組等 講師：伊賀市産業振興部中心市街地推進課長 森口浩司氏 場所：ハイトピア伊賀（会議室） 見学先：新図書館、忍者体験施設など (参加者：7名)